

単元指導事例

7 わたしたちの市のうつりかわり

- 1 単元名 きょう土につたわるねがい
- 2 単元の目標
 - ・ 地域に残る史跡・道具・文化財を通して、先人が生活を向上させてきたことを具体的に調べ、今と昔の暮らしの違いや昔の人の苦心について考える。
- 3 単元の指導計画(13時間扱い)

次	時間	主な学習活動	指導上の留意点 副読本の活用例	副読本 ページ
1 「石巻の古いものさがし」	2	副読本を参考にして、地区に残っている古い建物や昔の様子を伝える石碑や道しるべなどを見学する。	地区にある場合には見学に行く。見学に行ける範囲に古い建物や石碑などがいない場合には副読本で調べる。	P105～P106
	2	家に残っている古い道具を持ち寄りどんなことに使っていたのか知る。	前もって副読本を参考にして自分の家から探すように声掛けしておく。	P107
	2	地域に残っている行事や祭りについて知る。	副読本を手がかりに前もって家の人に聞き取りをするように声掛けしておく。	P108～P111
2 「学校のうつりかわり」	2	初めてできたころの学校、おじいさんが通ったころの学校、現在の学校の様子について調べる。	副読本を参考に保護者や地域の方に学校の古い写真などを借りておく。(学校にも残っている場合がある)	P112～P116
3 「市のうつりかわり」	1	地図や写真を手がかりに昔の石巻と今の石巻を比べる。	副読本を参考に自分の地区の昔と今をくらべる地図や写真があれば提示する。	P117～P118
	1	地図などを参考に、江戸時代の石巻、明治時代になってからの石巻について調べる。	この時代の地図や写真はなかなか残っていないと思われるので、副読本をそのまま使用する。	P119～P123
	1	80年ほど前の石巻の様子について調べる。	防波堤や鉄道、漁港の様子などを副読本を参考に知る。	P124～P127
	1	70年ほど前の石巻の様子や、50年ほど前の石巻の様子、現在の石巻の様子について調べる。	市になった様子や、大きな工場ができた様子、合併して大きくなった石巻の様子などを写真や地図を参考に知る。	P127～P131
4 「わたしたちの市」	1	もっと住みよい石巻にしていくなためにしていかなければならないことを考える。	副読本の記入欄を利用する。	P132